

窓口です

12月届出分

うぶごえ

□お誕生おめでとうございます。

- ・鎌 沢 林 芳行くん
信行・テイトウトウイさんの子 11月25日生
- ・北 部 富岡 誠慈くん
賢一・徳恵さんの子 11月21日生
- ・大河原 加藤 優月ちゃん
剛・初江さんの子 12月13日生

おくやみ

■ごめい福をお祈りいたします。

- ・中 宿 後藤 公子さん
68歳 11月30日没
- ・長者久保 星野 眞吉さん
93歳 12月4日没
- ・追 分 石井 ぼん子さん
87歳 12月8日没
- ・吹 張 高橋 好子さん
87歳 12月12日没
- ・森下下 西澤 ミツエさん
88歳 12月13日没
- ・常 木 加藤 サワさん
96歳 12月18日没
- ・池 原 吉澤 次郎さん
88歳 12月18日没
- ・中野下 光山 重信さん
70歳 12月20日没
- ・松ノ木平2 古澤 美智子さん
75歳 12月26日没
- ・赤 谷 木村 英夫さん
97歳 12月29日没

※掲載を希望されない方は、届出の際に申し出てください。

クイズキャッチボール

本年もよろしくお願ひいたします。
それでは年始恒例のクイズです。
今年の干支はなんでしょう？

応募規定 ▶村に住んでいる人・勤めている人ならどなたでも応募できます。
▶賞品：正解者の中から抽選で村商工会商品券500円分を差し上げます。▶締切：2月5日(火) ▶応募方法：問題の答えと、住所・氏名・年齢・広報しようわへのご意見を書き、次のいずれかによりご応募ください。

＜ハガキでの応募＞

〒379-1298 企画課「広報1月号係」係

＜メールでの応募＞

kikaku@vill.gunma-showa.lg.jp

件名→「広報1月号係」係

▷12月号のクイズの答えは「60年」でした。当選者は次のとおりです(敬称略)。おめでとうございます。

★菊井 孔明(9歳) 椽久保北部

★小林いさほ(83歳) 森 下 下

◆将来の大きな支えになります
国民年金は20歳から60歳ま

国民年金のポイント

国民年金は、年をとったとき、病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんなどで支えようという考えで作られた仕組みです。国民年金は、20歳以上60歳未満の方は加入することが義務付けられています。20歳になつたら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう！

〜新成人の皆さんへ〜
20歳になつたら国民年金

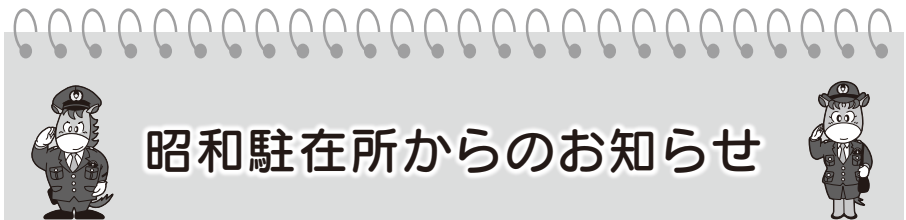


国民年金のご相談・手続き等については、役場総務課住民係または渋川年金事務所 ☎0279-12211607までお問い合わせください。

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族(「子のある配偶者」や「子」)が受け取れます。

◆老後のためだけのものではありません
国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族(「子のある配偶者」や「子」)が受け取れます。

の方が加入し、保険料を納める制度です。国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。



昭和駐在所からのお知らせ

◎信号機のない横断歩道では歩行者優先です◎

○ドライバーの皆さんへ

車両で横断歩道を通過する際、進路前方を横断しようとする歩行者等がいる場合は、横断歩道の直前で停止できるような速度で進行しなければなりません。横断歩道を横断する歩行者がいる場合には、必ず一時停止し、歩行者を渡らせてあげましょう。

横断歩道の手前で停止している車両がある場合には、停止車両の側方を通過する際に一時停止し、歩行者がいないか確かめましょう。横断歩道の手前30メートル以内は、前方を進行している軽車両を除く車両等の追い越しや追い抜きはできません。

○歩行者の皆さんへ

道路を横断する際は、付近に横断歩道がある場合は必ず活用しましょう。車両が通過する直前や直後の横断は大変危険ですので、余裕を持って安全確認を怠らずに横断しましょう。

このほか、横断の方法として斜めに横断することができる交差点を除いては、道路を斜めに横断してはいけません。また、標識により横断が禁止されている道路は横断できません。

はつらつトーク



高橋 里奈さん
(22歳・入原上)

今回の登場者は、
竹吉 柚貴子さん(23歳・長者久保)です。
中学時代にテニス部で一緒に頑張った仲間です。

「看護師になって」

私は大学時代に、尊敬する恩師に出会いました。その先生から小児看護の特殊性や難しさ、楽しさを学び、とても魅力を感じました。そして、小児の道に進みたいと思うようになり、現在は小児科で看護師として働いています。

働き始めて10か月。だんだんと仕事にも慣れ、小児看護の楽しさややりがいも感じるようになりました。しかし、まだまだ未熟で分からないことや難しいことが多くあります。つらいことや大変なこと、厳しいことがあっても、子どもたちの笑顔や頑張っている姿を見ると、自分も頑張ろうという気持ちになり、子どもたちからたくさんのパワーをもらい励みになっています。少しでも子どもたちが笑顔で安心して過ごせるよう、看護師としての自覚と責任を持ち、日々の努力を惜みず精進していきたいです。そして、いつも丁寧に関わりを大切に、子どもたちの未来を守っていきける、そんな看護師を目指したいです。

「消防団とは…」

第8分団は、貝野瀬地区を管轄し総員30名が所属しています。月3回、班ごとに機械器具の点検を行い、有事の際に備えています。

消防団は、火災や有事の際は、仕事中でも夜間でも出動しなければなりません。年々、会社員の団員が増える中、農家の団員には感謝しています。なぜなら、会社員の団員は仕事に出てしまえば、出動できる人と、できない人がいるからです。ですので、地元で仕事をしている農家の団員には助けられています。

消防団に入り、地区の知らなかった先輩や後輩が本当にたくさん増えました。そのつながりを大切にし、地域に貢献したいと思います。

消防団活動は家族の理解があつての活動です。家族に感謝し、これからも消防団活動に取り組んでいきます。

はばたけ！ 昭和村消防団



第8分団(管轄:貝野瀬地区)
分団長 **金井 一行さん**

広報文芸

俳句

西日さす壁は浄土か冬の蠅
吾生きて尚いくとせの年の暮れ
木枯らしや落葉舞い散る露天風呂
なつかしや焼きいもの味落葉たき
来る年の生活思ひつ障子張る
耳澄まし木枯しを聞く炬燵かな
風や大地にしかと開拓碑

小林 仁作
杉木 哲二
花茂 喜右
藤井 君枝
梅沢 まつ
須藤 澄子
真下 章子

短歌

米寿とて祝ひてくるる孫子ありまだ頑張れと己にむち打つ
新聞が読みたきと常言ひし母施設に入りて願ひが叶ふ
かすかなる音に秒針まはりて何時しか秋のねむりを誘ふ
バス窓にもみぢ見頃のいろは坂東照宮へつづく道ゆく
米寿なる友むき出しの腕に浮く太き血管を炬燵に見つむ
咲き盛る小菊一束いただきぬ挿しし部屋ぬちに香りあふるる
産院に強き命の泣き声は嬰兒の主張と母待つ二歳児
宛て次つぎ大人の腕の中ただ笑むのみにわらひ広ぐる

堤 みゑ
倉澤美代子
倉澤さなへ
藤井 君枝
板橋きみ江
堤 あさ江
林 千恵美
和田ひとみ